

臨床麻酔科学入門

Introduction to Clinical Anesthesiology

キーワード

- ① 全身管理医歯学
- ② 麻酔科学
- ③ 全身麻酔
- ④ 静脈内鎮静法
- ⑤ 疼痛治療

授業概要

麻酔学は全身麻酔学および疼痛治療学の分野から成り立ち、特に全身麻酔学は、全身疾患を有する患者の歯科診療時の全身管理とも密接に関係した分野である。本講義では、麻酔科学を専門とする教員が、それぞれの分野について基本および専門的な解説を行い、問題解決型の授業を展開する。学生は、さまざまな専門的視点から議論を行い、複数分野にわたる知識の体系化を達成することで、麻酔科学の理論と実際を理解し、専門的知識を修得し、臨床研究を検討する能力の基本を養成することを目的として開講する。

授業科目の学修目標

麻酔科学は、手術や歯科診療による侵襲から患者の身体を守る非常に重要な学問分野である。これは、全身疾患を有する患者の歯科診療時の全身管理をも包括する学問であり、超高齢社会における歯科医師としては欠かすことのできない分野である。それらの観点に基づき、本科目では大学院レベルにおいて必要な知識を修得することを目標とする。

授業計画

- ① 麻酔科学の基礎知識と臨床
 - ・麻酔科学の意義 1コマ 讃岐拓郎
 - ・循環器系の基礎知識と麻酔科学臨床の発展 4コマ 讃岐拓郎
 - ・呼吸器系の基礎知識と麻酔科学臨床の発展 2コマ 讃岐拓郎
 - ・代謝系の基礎知識と麻酔科学臨床の発展 1コマ 讃岐拓郎
 - ・麻酔科学に関連する薬理学と臨床の発展 2コマ 讃岐拓郎
 - ・顎顔面口腔領域の疼痛治療学と臨床の発展 2コマ 讃岐拓郎
- ② 麻酔科学の臨床および研究の倫理規範 4コマ 讃岐拓郎
- ③ 麻酔科学研究の展開
 - ・全身麻酔の研究の展開 6コマ 讃岐拓郎
 - ・静脈内鎮静法の研究の展開 3コマ 讃岐拓郎
 - ・局所麻酔法の研究の展開 2コマ 讃岐拓郎
 - ・顎顔面口腔領域の疼痛治療の研究の展開 3コマ 讃岐拓郎

教科書および参考書

- ① 金子 譲 編：歯科麻酔学 第7版 医歯薬出版
- ② 武田純三 監訳：ミラー麻酔科学 メディカルサイエンスインターナショナル

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

授業計画の各項目では、基礎的知識の修得に加え、本分野の教員が専門とする領域の関連論文を熟読し、概要の理解が求められる。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 麻酔科学の意義を理解し麻酔科学の基本を説明できる。
- ② 麻酔科学の臨床および研究における倫理規範を理解し応用できる。
- ③ 麻酔科学研究論を理解し実践できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポート フォリオ	口頭試問	その他
40%	0%	15%	15%	0%	30%	0%

評価の要点

- ・試験は、授業計画で行った講義の知識の理解度を判定する。1回40%
- ・レポートは、①～③の中から各1項目について課題を提出する。5%×3回=15%
- ・成果発表は、①～③の中から各1項目について成果を発表する。5%×3回=15%
- ・口頭試問は、授業終了後毎回行い、知識の理解度を判定する。1%×30回=30%

理想的な達成レベルの目安

臨床麻酔科学入門の理想的な達成レベルは80%以上とする。特に、倫理的な理解に関しては100%を求める。